

事務事業名		農道保全対策事業(飯石・斐伊地区農道負担金)		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
	施策名	〈36〉農業の振興		担当者名	内田俊行	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2402
	基本事業名	〈108〉農業基盤の保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	県営農道整備事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		項 目 中事業 中事業名	農道保全対策事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 34 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県 飯石広域農道及び斐伊農道の雪崩対策、法面保護、橋梁耐震化、舗装を行う。 負担率25%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試・工事個所の確認・立会・地元調整。 道整備交付金事業の申請業務	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試・工事個所の確認・立会・地元調整。			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 負担金	千円	22,385	27,500	10,000	37,500
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	農業従事者	ア 受益面積	ha	1,583	1,583	1,583	1,583
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
農道点検及び機能診断を行うことにより、農作物や資材・耕作機械の運搬作業などの労務が軽減され、農業の生産性が向上する。	ア 雪崩対策工	箇所	0	1	1	1	
	イ 法面保護工	箇所	0	1	0	1	
	ウ 橋梁耐震化	橋	2	0	0	0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
・飯石・斐伊地区 交付金事業費: 17,000千円 交付金市負担: 4,250千円(25%) ふるさと事業費: 23,000千円 ふるさと市負担: 5,750千円(25%)	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	22,385	27,500	10,000	37,500
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	22,385	27,500	10,000	37,500
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	
		延べ業務時間	時間	240	240	480	
		人件費計(B)	千円	933	939	1,904	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	23,318	28,439	11,904	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農山漁村交付金事業が非常に厳しい状況のため、H28年度に道整備交付金事業に申請し認定を受けた。H29年度からは道整備交付金事業となる。	特になし。	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農道保全対策事業(飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	全路線が良好な路面で、また法面保護などが十分であれば、災害対策また事故防止につながり、農作物の運搬などが更に向上する。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	災害、事故防止には人命にもかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。																						
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
県と連携し、引き続き円滑な事業進捗に努める。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																								